

畑口寺田線4工区の昔と今



事業着手時
(平成25年7月撮影)



橋梁下部工施工時
(令和2年1月撮影)



畑口寺田線開通時
(令和3年12月撮影)



仮設道路完成時
(令和元年9月撮影)



橋梁上部工施工時
(令和2年8月撮影)

都市計画道路畑口寺田線 4工区整備事業

都市計画道路畑口寺田線4工区は、平成25年7月に事業着手し、令和元年度には本格的な橋梁工事を進めるとともに、周辺道路整備にも取り組み、令和3年12月に都市計画道路畑口寺田線【新佐方大橋を含む】本線部・北側副道の工事が完成し、供用開始しました。

新佐方大橋完成(令和3年12月撮影)



畑口寺田線4工区が供用開始されて

- 両側歩道を設置することにより、安全・安心な通学路が確保できました。
- 鴨原踏切北交差点の交通混雑の緩和により、安全な歩行空間が確保できました。
- 橋の開通により、JR廿日市駅などへのアクセス・利便性が向上しました。
- 災害時における避難所への迅速な避難や救急活動が可能となりました。

□お問合せ先 廿日市市 建設部 施設整備課 計画整備係
Tel 0829-30-9181 FAX 0829-32-1062

令和3年12月発行

事業概要

事業の効果

都市計画道路畑口寺田線4工区は、近隣に位置する佐方小学校の通学路となっていますが、十分な歩道幅員が確保されておらず、朝夕の通勤時間帯には交通混雑が著しく、さらには、近接するJR山陽本線鴨原踏切により、鴨原踏切（北）交差点は慢性的な渋滞となっており、歩行者が危険にさらされているため、安全な通学路の確保が求められておりました。

本路線を両側歩道として整備することにより、安全・安心な通学路の確保を図るとともに、避難所までの迅速な避難や救急活動などが可能となり、防災機能の強化が図られます。

道路の規格

①畑口寺田線（本線部）

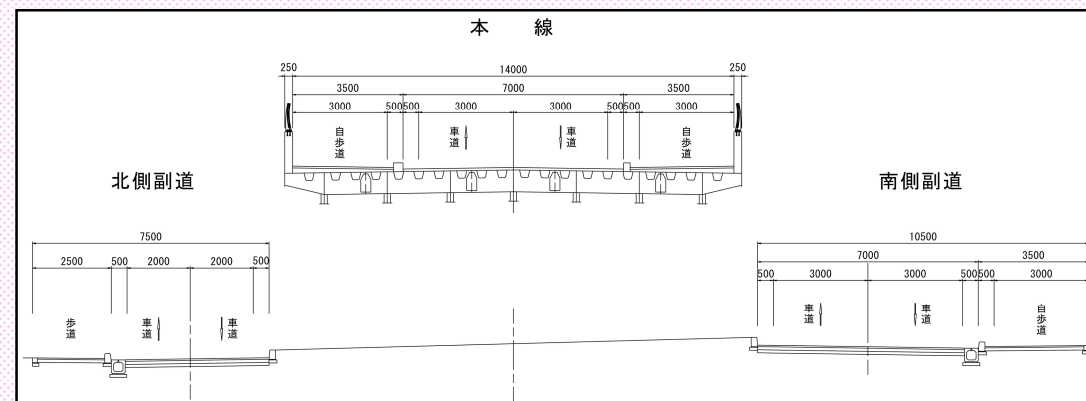
- 整備延長：L=260m
- 道路幅員：14.0m
- 車道3.5m×2車線=7.0m
- 歩道3.5m×2本=7.0m

②北側副道（副道部）

- 道路幅員：7.5m
- 車道2.5m×2車線=5.0m
- 歩道2.5m

③南側副道（副道部）

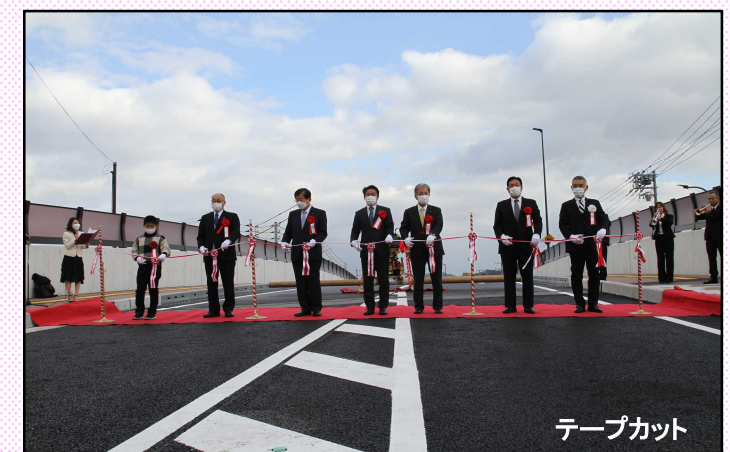
- 道路幅員：10.5m
 - 車道3.5m×2車線=7.0m
 - 歩道3.5m
- （令和4年3月完成予定）



地元の皆さんと開通を祝いました



地元小学生代表挨拶



テープカット



渡り初め



一般供用開始